

令和4年度後期学校評価結果及び改善策

松山市立道後小学校

2学期の学校生活に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者、児童のアンケートと教職員の自己評価を集計し、考察と改善策の検討を行いました。これらの改善策を具体化し、今後の教育活動に役立てていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 集計結果 (回収率：保護者 % 児童 99% 教職員 100%)

- A：達成している (80%以上) B：おおむね達成している (70%以上)
- C：あまり達成していない (60%以上) D：達成していない (60%未満)
- 肯定率 (回答4と3の合計)

評価項目	評価		結果 (%)				
			肯定率	4	3	2	1
1 友達と協力しながら楽しく学習している。	児童	A	97	72	25	3	0
	保護者	A	94	63	31	5	2
	教職員	A	97	21	76	2	0
2 学習に必要な持ち物を自分できちんとそろえている。	児童	A	92	55	37	7	1
	保護者	A	80	37	43	16	5
	教職員	A	82	0	82	16	2
3 家庭で家庭学習の目安の時間、勉強している。	児童	A	86	55	31	11	3
	保護者	B	79	35	44	18	4
	教職員	A	95	13	82	5	0
4 進んで気持ちのよい挨拶や会釈ができる。	児童	A	93	62	31	6	1
	保護者	A	82	32	50	17	2
	教職員	B	76	5	71	24	0
5 友達に優しくし、みんなと仲良く過ごしている。	児童	A	97	74	23	3	0
	保護者	A	93	49	44	6	1
	教職員	A	100	18	82	0	0
6 本が好きでたくさん読書している。	児童	B	78	47	31	16	6
	保護者	C	64	34	30	27	9
	教職員	A	92	8	84	8	0
7 責任をもって当番や係などの仕事をしている。(家で任された仕事をしている)	児童	A	95	68	27	5	0
	保護者	C	66	22	44	30	5
	教職員	A	92	8	84	8	0
8 掃除や水やり、整理・整頓などきちんとできている。	児童	A	91	56	35	7	2
	保護者	D	43	10	33	42	15
	教職員	A	90	2	88	10	0
9 外で元気よく遊んだり、進んで運動したりしている。	児童	A	81	60	21	15	5
	保護者	B	68	35	33	25	7
	教職員	A	92	13	79	8	0
10 自分の健康や安全に気を付けている。	児童	A	97	71	26	2	1
	保護者	A	84	36	48	14	1
	教職員	A	92	5	87	8	0
11 早寝・早起き・朝ごはんに気を付けている。	児童	A	84	48	36	13	3
	保護者	A	80	40	40	18	2
	教職員	A	95	13	82	5	0

2 これからの取組について

<全般>

多くの評価項目でA（80%以上）となりました。児童の頑張り、保護者の皆様のご指導・ご協力のおかげと感謝しております。児童・保護者・教職員の三者ともにそろって高評価の項目については、現在の指導を継続し児童の成長につなげたいと思います。

一方、評価項目6、7、8などのように三者の評価に大きな開きが見られるものについては、改善につながるよう指導の方法や対応の改善を図っていききたいと思います。

<学習について>

新型コロナウイルス感染症対策をしながら可能な限り通常の学習を実施してきました。表面の学校評価では、現れていませんが、愛媛県や松山市で実施している学力調査では、対象学年の全ての教科において平均を大きく上回る結果が出ています。評価項目1からも前向きに学習に取り組んでいる児童の姿をうかがうことができます。

今回の調査で学習に関係する評価項目のうち3の「家庭学習」についての保護者評価の肯定率がB評価（70～79%）でした。令和3年度12月が82%、令和4年度7月が80%であり、微減の状況が続いています。大きな変化ではありませんが、家庭学習の重要性を伝えたり、家庭学習の進め方を個別に指導したりするなど、今後の学習習慣につながる指導を強化していききたいと思います。

<生活について>

前期同様、項目5の「友達に優しくし、みんなと仲よく過ごしている。」の評価が、児童・保護者・教職員ともに高くなっています。良好な人間関係は、学校生活の最も重要な基盤となります。よい評価を得たことは一つの安心材料となります。しかし人間関係で悩んでいる児童への配慮を忘れることなく指導にあたりたいと思います。

評価項目8の「掃除や水やり、整理・整頓」は、保護者の肯定率が43%のD評価となっている。児童の肯定率は91%、教職員の肯定率は90%であることから、児童・教職員は学校での様子を評価し、保護者は家庭での様子を評価したためにこのような違いが生じたと考えられます。過去の保護者の肯定率は令和3年度12月が50%、令和4年度7月が46%であり、低下傾向が続いています。家庭でご指導いただくだけでなく、学校での指導が家庭での実践につながるように、具体的な指導を心掛けたいと思います。

また、保護者の方から以下のようなご意見をいただきました。

「学校がとても楽しいようで親としてはとても安心しています。」「子どもの些細な困りごとにもきちんと対応してくださり、とても感謝しています。」といったお言葉をいただきました。

一方で、「先生の言葉遣いも気を付けてもらいたい。子どもが委縮している。」といったご指摘がありました。職員会議を開き、いただいたすべてのご意見を確認し、教職員一同、気を引き締めたところです。

また、いくつかご要望をいただきましたので、対応策を検討いたしました。ご理解・ご協力をお願いいたします。

【要望事項と対応策】

- 担任の先生によってノートの使い方などに考え方の違いがあり、新しい学年になる度に戸惑っているのが分かる。ノートの使い方や自主勉強の仕方、テストの採点の仕方など、教員間で共通理解してほしい。
→ 「学習の手引き」を基本に、共通理解をして学習指導に心掛けるよう意識統一をしました。自主勉強の仕方については、低（中）学年のうち、取組内容のヒントやアドバイスを提示するようにします。
- 図工の持ち物の指示が、子どもからは伝わらないことが多く、図工前日に買い出しに走ることがあり困った。
→ 準備物が必要な場合は、学年だより等で事前に連絡するようにいたします。
- 通学路のガードレール設置等、今一度見直していただき、安心して登下校できるよう整備してほしい。
→ 年に1度は、PTAや関係機関と連携して通学路の安全確認を行っています。特に、ここが危ないという箇所がありましたら、ご連絡いただけますでしょうか。改善できるよう働きかけます。

※ 赤字は7月の内容です。